

会議結果報告書

会議の名称	第1回令和5年度札幌市民間児童育成会選定委員会
日時・場所	令和5年9月26日(火) 14:00~15:00 大通バスセンタービル1号館 7階大会議室
出席者	金昌震委員、野坂真英委員、岩瀬ひろ子委員、久保幸範委員、両瀬知恵理委員、佐藤学委員(計6名)
傍聴者数	1名

議 事	概 要
1 委員長の選出について	○札幌市民間児童育成会選定委員会運営要綱に基づき、金委員を委員長に選任される。
2 候補者選定要項等の設定について	<p><事務局説明></p> <p>○別添資料4「民間児童育成会について」に基づき、民間児童育成会の基本的事項等について説明</p> <p>○別添資料1「札幌市民間児童育成会候補者選定要項(案)」に基づき、申請条件や提出書類、評価基準等について説明</p> <p><委員からの主な意見></p> <p>○新規開設に当たっては、ある程度資金や人脈があり、その地区のことをよく分かっている人でなければ、数か月での開設は難しいのではないかと感じる。</p> <p>○札幌児童会館の過密化については、子ども未来局も含め協力いただきながら、解決に向けて模索してきた。今回、民間児童育成会の選定という方法をとるとのことだが、これまでの議論でも出てきた学校と教室の相互利用等も並行しながら行っていく必要があるのではないかと。</p> <p>○人材の確保や待遇等に対する備えは、持続可能な育成会の運営に関しては重要だと思う。採点基準の中に労務管理に関する項目があってもいいのではないかと。</p> <p>○評価項目の中に「施設敷地内及び近隣に屋外の遊び場があるか」という内容があるが、評価にも関わってくるので、記載するうえで敷地内か敷地外かが明確に分かるように「施設概要書」や「事業提案書」の書きぶりを微</p>

修正したほうがいいように思う。

○札幌北小学校区の中でも、新しく整備された地域は、比較的広い公園が多く、十分に遊べるスペースなどはあるかもしれないが、古くからある住宅街などは、公園も小さめで、新たに建物を設置するような場所もない現状。

○既存の建物を借りて運営するというのであれば、古くからある東苗穂地域であれば、借りることができる古い建物等がもしかしたらあるかもしれない。

○ここ 10 年くらいで人が増えた東雁来地域は、新築の戸建てが多く、おそらく空き物件を探すのは難しい。しかし、その地区から多くの児童が通っていることを考えると、その地区で預かってくれる場所があればいいと思う。

●委員の方々からいただいた意見等を踏まえ、事務局で様式等を微修正することを確認する。